

本邦における心血管インターベンションの実態調査（J-PCI）

参加説明書

1 研究の対象

柏市立柏病院においてP C I を施行した患者さん

2 研究目的・方法

冠動脈カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術）は狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患の治療本法として重要な位置を占めています。このため本治療の手術成績を明らかにすることは大変重要です。

現在、国内における冠動脈カテーテル治療の年間施行症例数や手術成績を調査するために「日本心血管インターベンション治療学会」では実態調査を行っています。

柏市立柏病院では、より安全で効果的な冠動脈カテーテル治療を患者様に提供すべく、この調査に参加します。

3 研究に用いる試料・情報の種類

○患者情報：初回登録日、院内管理コード、性別、生年月日

○入院情報：今回P C I に至った診断名（1ヶ月以内の症状の有無、1ヶ月以内に症例を特に有さない症例の分類）

○手術・インターベンション情報 術前情報：PCI 歴、CABG 歴、心筋梗塞の既往、心不全の既往、24時間以内の心肺停止、24時間以内の心原性ショック、24時間以内の急性心不全、1ヶ月以内の症状の有無、併発疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症、喫煙、腎不全、繊維透析、慢性肺疾患、末梢血管障害、併発疾患なし）、術前画像・負荷検査の施行、検査内容、術前抗血小板薬の使用、術前抗血小板薬の種類、術前抗凝固薬の使用、術前抗凝固薬の種類、病変数等

○手術・インターベンション情報 術中情報：PCI 施行日、年齢、第一術者医籍番号、指導医籍番号、PCI のステータス、アクセスサイト、Door to balloon time、透視時間、病変の部位

○手術・インターベンション情報 術後情報：手技に関する合併症（院内死亡、PCI 手技による心筋梗塞、心タンポナーデ、補助循環や強心薬を必要とした心不全・ショック、ステント血栓症（院内発生）、緊急手術、輸血を必要とする出血性合併症（アクセスサイト）、輸血を必要とする出血性合併症（非アクセスサイト）等

4 外部への試料・情報の提供

NCDデータベースシステムを利用してP C I のレジストリーを構築し、当院で施行したP C I 全症例の入力項目をデータベースに登録します。データ登録は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5 研究組織

日本心血管インターベンション治療学会の会員施設（約 1,000 施設）

6 お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

柏市立柏病院循環器内科 小林 和 郎

〒277-0825 千葉県柏市布施 1 - 3 Tel 04-7134-2000 (代)